

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁キッズセンター南		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容を工夫し充実させている	利用回数が多い児童もいるので毎日違う活動を提供。 運動や制作など同月内の同じ曜日のバランスが良くなるよう提供。 土曜日は外出を増やし、いろいろな場所へ行ったり体験する機会を提供。	新年度になるため、今までやってきたことを難易度を上げたり、レベル別の活動を増やしてワンランクアップさせて少しずつ活動の幅を広げていく。
2	季節行事の充実	夏まつりとクリスマス会は2大イベントとして充実させている。 夏まつりは保護者も参加型のイベントとし保護者間での交流の機会としても提供しているが現状は参加人数は多くはない。 季節の行事も充実させて日本の文化や四季に触れる機会を作っている。	夏まつりはさらに充実させて保護者にも多数お越しいただけるよう早めの周知やご家庭ごとにお誘いをする。 保護者が参加できる活動も増やしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が少ない。他の事業所の助けを借りながらもなんとか事故なく運営を続けている	採用をしてもキャンセルが多い。そもそもの求人が少ない。	離職率は決して高くはないと思われるので、求人の仕方の検討も必要
2			
3			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		緑キッズセンター南		公表日		2025年3月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	広さが不十分。放デイと児発を一緒のフロアにすると狭く感じる。極力ものを処分し広いスペースで確保するよう心がけている。定められたスペースで行っている。机などのものの配置等工夫している、注意している。	決して広くないスペースなため、不要なものしまうなどスペースの確保に努める。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	不十分。職員を増やしてほしい。送迎時に人員がとられる時間がある。少し少ない。	引き続き、求人を行い採用に向けて対応していく。児童の人数に対して職員が少ない時間帯ができないよう送迎を工夫して対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	ワンフロアで適切。危険のないよう物品の配置等気を付けている。最低限あり。	現状生活空間環境はある程度は整えられている。新しい児童が増えるたびに環境をみなおしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	清潔であるが狭い。清掃、消毒等気を付けている。人数や活動に対して広さが足りない。	今後も送迎後の清掃・消毒をきちんと行い、環境を整えていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	パーティションで区切り対応している。個室はないが事務スペースなども利用している。	着替えは現状通りパーティションを使用。クールダウンには、パーティションや事務スペースを利用して対応していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		現状行えているので継続していく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティングや職員面談で行っている。	職員間のコミュニケーションの機会を増やせるよう、ミーティング回数の適性を検討しなます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	わからない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		できているので、今後も継続していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	日々の支援方法等は朝礼、終礼、ミーティング等で共有されている。	今後もミーティング等情報共有の機会を確保して、よりよい支援を行えるようにしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		今後もアセスメントを定期的に行い、情報を更新、共有し、支援に活かしていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2		今後も楽しんでいただける活動をていきようできるよう、職員で協力して検討していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	週の中で同じ活動がかぶらないようになっている。	毎日ご利用される児童もいるため、飽きることなく通えるよう活動内容を工夫していく。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼で反省、共有をしている。	始業前の社員のためのショートミーティング、朝礼、終礼を行っているので、今後も継続して情報共有を行い、相談等もできる場にしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	連絡帳を書いている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		保護者面談にて行っている。職員にもきちんと情報共有を行い、よりよい支援につなげていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		区のケースワーカー、協力医、相談支援員、学校、保育園、療育センター等の各関係者との連携を取り支援を行っているため、今後も必要に応じて連携していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	該当者なし	今後も必要に応じて連携していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	わからない。	今後も必要に応じて連携していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		現状は地域とのかわりには少ないが、今後の課題として地域交流等行っていきたい。地域との関係づくりからはじめていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		保護者面談にて情報提供は行っているが、事業所としての取り組みとしては行っていない。保護者の方が参加できる企画も含め今後行ってきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		昨年の夏祭りは参加数が少なかったため周知を早く行い、内容をさらに魅力のあるものにするなど保護者間の交流の場ができるよう工夫していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		イベントを開催する際に保護者と地域の方が参加できるような企画をし地域との交流を図れるようにしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		現状該当者はいないが、必要に応じて対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			